

2024年6月3日
株式会社竹中工務店

TNFD 情報開示フレームワークに基づいた TNFD レポートを開示

竹中工務店（社長：佐々木正人）は、自然関連財務情報開示タスクフォース（TNFD：Taskforce on Nature-related Financial Disclosure）が2023年9月に公表した「TNFD 最終提言 v1.0」を採用し、同年12月に「TNFD Adopter」※¹に登録しました。

このたび、当社グループが連携・協働し、TNFD 情報開示フレームワークに基づいた活動を TNFD レポートとしてまとめ、本年5月31日に開示しました。

開示内容については以下をご覧ください。

URL: https://www.takenaka.co.jp/enviro/esg_data/date/pdf/Takenaka_TNFD_Report_20240531.pdf

※1 「TNFD Adopter」: TNFD 提言に沿った情報開示を行う意思を TNFD のウェブサイト上で登録した企業・組織を指し、採用者は2024年度分または2025年度分のいずれかにおいて、TNFD 提言に準拠した開示を行うことが求められます。



持続可能なまちづくりを推進する当社では、環境との調和をもとに、1971年、設計図面用紙に「設計に緑を」のマークを標語に掲げ、環境への取組みを開始しました。2009年に環境方針を制定し、2020年からは、生物多様性を重要課題（マテリアリティ）の一つとして特定しています。

生物多様性の保全・回復を目指す活動としては、千葉県印西市の竹中技術研究所内に、お客様や社会の課題を多目的に解決するグリーンインフラと生物多様性保全・回復の研究開発フィールド「調の森 SHI-RA-BE[®]」を設け、課題解決に取り組んでいます。2023年10月には、当社として初めて、環境省の「自然共生サイト^{※2}」に認定されました。

また、兵庫県川西市にある清和台の丘陵地に位置する敷地面積約8haの当社研修所内においては、2017年より「清和台の森づくり」の取組みを進めています。この取組みは、森林・緑地の再生を通じて、森・人・技術を育て、持続可能な社会の実現に向けた社会課題解決につなげるものです。2024年2月に、「調の森 SHI-RA-BE[®]」に続いて「自然共生サイト」の認定を受けました。



調の森 SHI-RA-BE[®]



清和台の森

※2「自然共生サイト」について：環境省は、民間の取組み等によって生物多様性の保全が図られている区域を「自然共生サイト」として認定する仕組みを設け、2023年度から正式認定を開始しました。

当社は、今後も竹中グループ一体となった様々な取組みを推進します。TNFD フォーラムの情報開示フレームワークに基づき、ステークホルダーに情報開示を行うとともに、企業価値向上に取り組んでいきます。